

# MATSUDOING 2050

## ～わたしがつくる!まつどのみらい～ ワークショップ

LifeとWorkがつながる  
1日を楽しく過ごし・学び・働ける空間を  
自分でつくろう!

### ○First Stage

第1回 令和元年8月31日(土)

#### まつど全体の将来像について考える(こんなまちになったらいいな)

<レクチャー> まつどのまちの成り立ちとその歴史的背景・最近のまつどの動き

- <ワークショップ> ① 個人ワーク: まつどの強みと弱み  
② グループワーク: まつどのまちの将来像(可能性)

第2回 令和元年10月12日(土)

#### 松戸駅周辺での過ごし方について考える

#### 新しいライフスタイルについて考える(こんなサポートあったらいいな)

<レクチャー> 新しい働き方の実現、消費から時間と場所の共有へ

- <ワークショップ> ① 個人ワーク: 松戸駅周辺での過ごし方についてのアイデア  
② グループワーク: アイディアを松戸駅周辺に落として過ごし方を考えよう  
理想の過ごし方を実現するために自分だったら何ができるか考えよう

第3回 令和元年11月3日(日)

#### 新拠点ゾーンの空間について考える(こんな居場所があったらいいな)

#### 新しいサービスを提供する施設への期待

<レクチャー> パブリックスペースを中心とした多様な暮らしと新しいライフスタイル

- <ワークショップ> ① 個人ワーク: 新拠点ゾーンのパブリックスペースを中心としたアクティビティのアイデア  
② グループワーク: ①のとりまとめ / みんなのアイデアを実現するために自分ができること、行政がサポートすること

### ○Second Stage

【開催予定日】

第4回 11月23日(土) ・ 第5回 12月14日(土) ・ 第6回 1月18日(土)

# Conductor



横張 真氏  
(よこはり まこと)

## 東京大学大学院工学系研究科教授

松戸駅周辺まちづくり委員会 委員長

### 【略歴】

東京都向島生まれ、  
東京大学大学院修了 博士(農学)  
東京大学大学院工学系研究科教授、  
筑波大学大学院システム情報工学研究科教授、  
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授を経て現職。  
京都大学、早稲田大学の非常勤講師、グルエフ大学(カナダ)、  
バーリ大学(イタリア)、アデレード大学(オーストラリア)等の客員教授を兼任。

# Keynote



西村 幸夫氏  
(にしむら ゆきお)

## 神戸芸術工科大学教授

公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター  
まちの活性化・都市デザイン競技審査委員長

### 【略歴】

福岡市生まれ  
東京大学 都市工学科卒、同大学院修了、明治大学助手、東京大学助教授を経て、  
1996年 東京大学大学院教授(～2018年)、2011年 東京大学副学長(～2013年)  
2013年 先端科学技術研究センター所長(～2016年)、2018年より現職。  
アジア工科大学助教授(バンコク)MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、  
フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。東京大学名誉教授。



宮城 俊作氏  
(みやぎ しゅんさく)

## 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授

### 【略歴】

京都府宇治市生まれ  
千葉大学 園芸学部造園学科卒業  
1992年より、設計組織PLACEMEDIA・パートナー、  
2010年より、宗教法入平等院・代表役員。京都大学大学院農学研究科博士前期課程修了、  
ハーバード大学デザイン学部大学院修了、農学博士(京都大学)  
千葉大学 助教授、奈良女子大学大学院教授、放送大学教授を経て、2019年より現職。



秋田 典子氏  
(あきた のりこ)

## 千葉大学大学院 園芸学研究科准教授

松戸駅周辺まちづくり委員会 副委員長

### 【略歴】

大阪府生まれ  
2004年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士(工学)(東京大学)  
千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース緑地環境管理学研究室、  
東京大学国際都市再生研究センター研究員、  
東京大学大学院新領域創成科学研究科研究員を経て、2008年12月より現職。



藤村 龍至氏  
(ふじむら りゅうじ)

## 東京藝術大学准教授

松戸市公共施設再編審議会 副委員長

### 【略歴】

東京都生まれ  
2008年 東京工業大学大学院博士課程単位取得退学 修士(工学)  
2005年より藤村龍至建築設計事務所(現RFA)を主宰、  
東洋大学専任講師を経て2016年より現職。  
2017年よりアーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長。

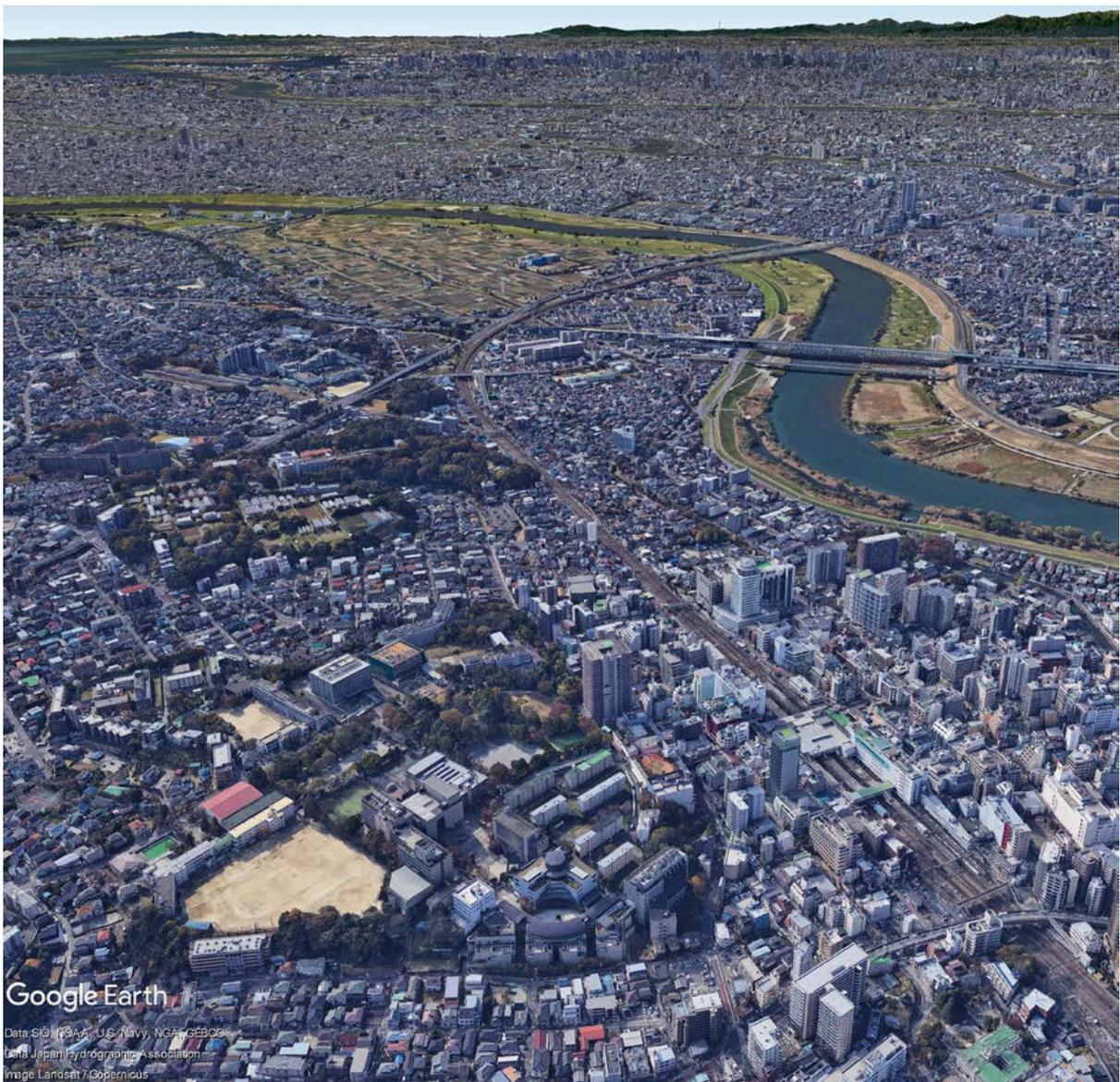
## Area 松戸市～松戸駅周辺～新拠点ゾーン

松戸市全体としての「まつどブランド」の再生。  
そのために、中心市街地である松戸駅周辺も変わっていく時ではないでしょうか。

松戸駅周辺にはどうなってほしいですか？  
まつどの魅力が発信されるような、新しいまちに生まれかわってもらいたくないですか？  
まつどならではの歴史やみどり、そして地域コミュニティと新しいプレイヤーがコラボした、魅力あるまちにしたいくないですか？

松戸駅の近傍には、松戸中央公園を中心に緑豊かな国有地が広がっています。  
このエリアを生かして、私たちの新しいライフスタイル・ワークスタイルがあふれる、魅力あるゾーンにしていきたいませんか。  
そして、そんなライフ&ワークを支える求められる庁舎の姿とはどのような物でしょうか。  
みなさんと共に時代の流れの先を見て、形にしていきたいませんか。

みなさんの意見でまつどをつくる。  
そんなプロジェクト(ワークショップ)に参加してみませんか？



## 2019.5.11 市民シンポジウム開催 ～ライフスタイル・ワークスタイルの変化と新しいまちづくりシンポジウム～

### 当日の主なプログラム

#### 1. 基調講演

テーマ：ライフスタイル・ワークスタイルの変化と新しいまちづくり  
講師：横張 真氏

#### 2. 松戸市説明

「新拠点ゾーンをランドマークに」 「これからの市役所のあり方」

#### 3. パネルディスカッション

コーディネーター：横張 真氏

パネリスト：西村 幸夫氏、宮城 俊作氏、秋田 典子氏



### 基調講演 キーワード集

- ・これまでの開発モデルというのは、要素や機能に分解し、分解されたものを将来を見越して少し大きくしてあげよう。こういう発想だった。例えば、ベットルーム、ダイニングルームなど機能を切り分けて、現在必要な量より少し多めに積んどいて、そして家を買う。こういうことが一般的であった。
- ・現在はとにかく可能な限りものは持たない。そして少しものが増えてしまったら、本当に必要なものは何か見極めて、後はもう捨ててしまう。そういう身軽さが非常に求められる時代になってきている。あるいは、ものではなくて、むしろ「事」にこそ重要性を見出そう。こういう時代になってきている。
- ・空間を上手く使い分け、その時その時によって使い分けながら、できる限り余計なものを作らない、持たないといった、暮らしのありようが、これからの暮らしの大きなヒント。
- ・「SDGs」を、街づくりの中にもどうやって活かしていくかという時に、なるべくその物を地域内で回していく、こんなことも問われるようになってきている。
- ・何でも安ければいいということで、海外から輸入してしまうとかではなくて、なるべく地場にあるものを活かしながら街を作っていく。これもこれからの大きな目標になっていくのではないかな。
- ・暮らし方もそして働き方も、これから大きく変わろうとしている。そういう中にあるは、従来はとにかく、拡大することを基調として動いてきた社会が、そうではなくて、これからはむしろ無駄を省く、ないし地の資源を活かしていくという中で、いかに効率的に空間にしても社会にしても作っていくのかという時代になってきている。
- ・決して従来のような、高い高層マンションを建てちゃえ、大きなショッピングモールを作っちゃえという中で、なんとなくそれでいい街ができるという夢は、もうそろそろ捨てないと、それが完成する頃には、それを本当だったら住むべき人達、使うべき人達から、「こんなのダサイよ、カッコわるいよ。」という風に言われてしまうのではないかな。

シンポジウムの詳細は、松戸市公式HPへ

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/toshiseubi/machi.html>

事務局：松戸市役所 新拠点整備課

〒271-0072 松戸市竹ケ花136番地の2 竹ケ花別館4階

TEL:047-366-7086 FAX:047-704-4050

Mail:mcshinkyoten@city.matsudo.chiba.jp

